

令和6年1月9日

生徒の皆さんへ

校長 石川晋吾

令和5年度3学期始業式に際して

生徒の皆さん、先生方、事務職員の皆さん、また、多様な職種で足柄高校を支えてくださっている皆さん、校長の石川です。令和6年がスタートしました。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

元日の能登半島地震や翌日の羽田空港での事故など災害・事故が発生し、亡くなられた方やご苦勞をされている方も多く、不安の中で新年がスタートしましたがけれども、皆さんにとってまた足柄高校にとって、実り多く充実した1年となりますようにと、日々大切に過ごしてまいりたいと思います。

さて、今年の4月からの話とはなりますが、木曜日7校時に行っている「総合的な探究の時間」の話から。皆さんは、この時間をどのように捉えていますか。例えば、わたしなら、「県西地域全体の人口減少を食い止めるためにはどうしたらよいか」「なぜ、地震予知はできないのであろうか」「なぜ、私の話はずまらないと先生方から指摘を受けるのか」等。簡単にいうと、自分に日常にかかわるどのようなことでもよいので、問いを立てて、取り組んでほしい時間帯なのです。それって授業でやることなの？という疑問を持った人もいると思いますが、背景はこうです。

みなさんは、「シンギュラリティ」＝(AIが人類の知能を超える転換点)が、我々の想定以上のスピードで前倒しになっているという状況は何となく感じているかなと思います。ChatGPTのような生成AIの登場で世界、当然高校現場も激変すると思います。高校時代のような大事な時期にこそ、探究心やリーダーシップ、計画実行力などを身に付けるための活動に時間を費やすべきだからです。生成AIにはできない新しい価値の創造、人間がより幸せに生きるための最終判断は、私たち人間が行うことなのです。そのために必要な能力を「総合的な探究の時間」で身に着けたいと考えています。

国公立大学側では、総合型選抜による入学者の比率を3割にするという目標を掲げ、探究活動や課外活動が評価され始めています。私立大学側でも、思考力と判断力の重視した入試問題の作成重視化が図られています。この探究活動が、入学試験に直結するのです。

最後になりますが、これから午前授業となる3年生の皆さんへ、卒業を目の前にしてますます、健康面の自己管理が大切かな。特に、今週末の大学入学共通テスト受験者の皆さんは、夜更かし厳禁ですよ。1・2年生の皆さんも同様ですが、通学時の交通ルールをしっかりと守り、スピードを控え、くれぐれも交通事故等に遭わないよう願っています。

以上、多くのことを話して来ましたが、私の最も強いお願ひは一つ、「いのちはたった一つしかないのだから、だから大切にしてほしい」。生徒職員皆様にとって、心身ともに健康な1年が送れますように。

以上です。